

## HAMADA 教育魅力化コンソーシアム 令和 5 年度第 2 回役員会 議事録

- 日 時 令和 6 年 2 月 8 日（木）10：00～11：30
- 場 所 浜田市立浜田まちづくりセンター
- 出 欠 出席役員 10 名（代理出席 1 名を含む）  
欠席役員 6 名
- 結 果 報告と協議のみのため、議決事項はなし

### 主な意見等

#### [会長あいさつ]

今日は HAMADA 教育魅力化コンソーシアム役員会にお集まりいただきありがとうございます。ごさいます。

今日の会議では、今年度の取り組みの中間報告をさせていただき、今後の活動方針について協議をさせていただきます。

この 1 年振り返ってみて、私はこのコンソーシアムの事業が少しずつ、確実に進んでいるように感じております。

例えば、昨年 12 月に開催した教育魅力化フェスタや、1 月に開催した高校生による地域づくり企画発表会など、各学校の PBL 活動からも感じ取ることができます。それから高校の枠を超えて活動している、地域系部活動 Y.A.C.（ヤック）の取り組みにも表れてきているのではないかと考えております。

また、地域活動とそれに参加をする高校生のマッチングの数も増えているような状況があります。

ただ一方で、この事業に対する県の交付金が令和 6 年度までということになっていて、その後に繋がる仕組みをどう整理していくかということが大きな課題でもあります。

後程、事務局から今年度の取り組みの振り返りと、今後の事業方針の中でも、特に教育魅力化フェスタの取り扱いについての説明も予定しておりますので、どうかこのことについて委員の皆さんの忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。

高校生のみならず、小中学校の子どもたちや大学生も含めて、学校と地域の連携がますます広がっていくことを期待もしておりますし、そのことを願いつつ、今後の地域の皆様のご支援をお願い申し上げまして、冒頭のごあいさつとさせていただきます。

#### [令和 5 年度事業報告（12 月末現在）]

事務局より資料に基づき事業報告を行った。

これに対して、役員からの質問や意見はなかった。

## [令和6年度事業方針について・HAMADA 教育魅力化フェスタについて]

事務局より資料に基づき事業方針と HAMADA 教育魅力化フェスタについて一括で説明した。

### ○役員からの意見・質問

#### ■浜田水産高等学校校長 [意見]

- ・発表の場があるということは本当にいいなと思う反面、言われたように場所、時期の問題が大きいと思う。それだけの効果があったかと問われると厳しいと思う。フェスタに注力していた力を各校の魅力発信の方にシフトしていくという、大まかな方針については賛成。具体的にどのように進めるかはこれからの話だと思う。
- ・コーディネーターが、浜田高校に1人、浜商、浜水で1人という配置になっているが、色々な地域を見ると、各校に1人専従し校内に配置されているところが多い。
- ・例えば、本校はY.A.C.（ヤック）に参加している生徒数が少ない。活動のチラシを生徒端末に載せて紹介しているが、端末紹介になると伝える教員の熱量や、生徒も見て終わりになり通じない。
- ・Y.A.C.（ヤック）と繋ぐ等を行うとなると、1人担当をつけないといけない。普通高校であれば主幹教諭、そしてコーディネーターがその役割を担えるが、そうではない学校は難しい。
- ・今、県立高校 ICT 推進担当が月に何回か学校に来て、何か質問があったら教えてもらえる。今はその人が来たらものすごく聞きに行ったりしている。
- ・やはりコーディネーターも、常に学校に席がある。常には難しければ週3ぐらい来ていただくと、コーディネーターと繋がり、色々なことがうまくいくと聞いている。
- ・各校の魅力に今から力をシフトしていくということであれば、コーディネーターの1校1人配置をお願いしたい。

#### ■浜田商業高等学校校長 [意見]

- ・日頃この HAMADA 教育魅力化コンソーシアムの働き、大変ありがたいと思っている。生徒確保に関しては大変心強いものがある。
- ・実際、コンソーシアムが立ち上がってから、市内での進学実績も上がっている。
- ・生徒確保は各校命題だが、地域住民の方に、専門高校、普通高校、それぞれの学校の特色、良さを理解していただくというところが本当に難しいところで、そのために、例えば地域資源を活用した授業を支援したり、授業の中に入っていただくことで学校をよく理解していただいたりしている。
- ・本校も秋から浜商応援団という名前で、アドレス登録だけでイベントを案内する仕組みを構築したが、まだ100名程度しか登録がない。それはそれでパート

ナーバンクと並行してやっていこうと思っている。

- Y. A. C. (ヤック) については非常に良い試みだと思っている。高校生が主体的にやりたいことができる、そういう場がある、機会がある。それは本当に熱心にやってくださっていると思う。
- それを披露したり、表彰や労いをしたりする場があると良いと思う。その場が魅力化フェスタであると思っていた。
- 来年度は開催しないという理由について、説明を聞いて、先ほどの白井校長から言われた意見と私も同じ。1回止めてみて、各校にその分注力してもらうのはいいと思う。
- ただ、Y. A. C. (ヤック) がもっと軌道に乗ってきたときに、途中経過や、やってきた成果等を披露する場が何らかの形であつたらいい。
- そして高校生は、マスコミに取り上げられると非常に自信を持って、変わる。これは、20年も前に勤めた学校で、別人のように自信を持って成長する様を見たので、マスコミに若者の取り組みを、今以上に上げてもらい、市民の方、地域の方が若者の今後に託すという気持ちをもっと持ってもらえるといいと思う。
- また、マッチングシステムをもっと機能できると思う。子どもたちにとって、大変良い学びの場になると思うので、学校としてもその動機づけというところをしっかりやりたいと思っている。
- そして卒業生ネットワーク作りは、本校にとっては弱い。まだまだ、呼び掛けもしていない。本校生徒の半分ぐらいは地元就職も多いので、もう少しシステムチックに卒業生には登録制にするとか、強制はできないが、ある程度積極的に登録を促すような仕組みづくりを行っていきたいと思っている。それだけの意味があることだと思っている。

#### ■ 浜田ろう学校校長 [意見・質問]

- 魅力化フェスタについては、コンソーシアムの目的の中にはないが、浜田市の多様化とかダイバーシティ的な考え方や、多様な子どもたちが学んでいるという部分での発表であるという位置付けをしていた。
- そういった意味ではすごくいい機会だったなというような気はしている。
- 一方、小中学生が参加していないとなると、次へ繋がらないという部分で、事務局が言われることはすごくよく理解できる。そうした意味では私自身は事務局の意見には賛成する。
- ただ、多様な子どもたちが学んでいるというアピールの場は欲しいと思う。
- このフェスタに係る予算を各校へ配分するのは、3校に配分されるのか、5校に配分されるのかは興味がある。
- 正直、この当面の取り組みは、本校にとっても同じ教育課題を持っているが、あくまで、高等学校3校の取り組みという形で進んでいると思う。

- ・例えば今、日本海信用金庫で、全国ろう学校絵画展で文部科学大臣賞の作品展示を行っている。そのアピールは、SNSに掲載しているが見てもらえない部分もある。
- ・コンソーシアムだよりや SNS を利用した取り組みでも、特別支援学校にも、少し目を向けていただき、浜田市全体としての多様性みたいなところを大切にしたいというところも魅力の発信の1つなのではないかと思っており、感想と要望をお伝えした。

**(事務局 回答)**

- ・予算についてコンソーシアムの事業は、本来県が各県立高校に交付する部分を經由して配分する仕組みになっている。
- ・ろう学校、養護学校に対しては令和4年度から同額ではないと思うが、個別に交付されている。
- ・今回、共通事業で各校に戻すという部分は、県立高校3校それぞれが本来もらうべき部分を共通で捻出し運営しているので、その部分は学校に戻して魅力ある活動に使用していただきたい。
- ・情報発信の部分は、ろう学校も一緒にコンソーシアムを運営しているので、少し配慮が足りなかったと思っている。コンソーシアムの活動以外に各校のトピックスの部分もあわせて情報発信できるよう見直させてもらう。
- ・魅力化フェスタに変わる発表の場をどうするかというところが、高校生の自己有用感とか、そのような部分で非常に大切だと思っている。
- ・まちなか交流プラザでは、浜田高校や、Y.A.C. (ヤック) の活動も発表している。このような小規模なものでもマスコミは当然来る。また、浜田市が行う「協働のまちづくりフォーラム」や、地域で活躍している事例発表なども、1つの発表の場として、今後可能ではないかと思っている。色々な方に発表を聞いてもらえる場の工夫はしていきたい。
- ・コーディネーターについては、ろう学校と養護学校は、学校運営協議会で配置されていると承知している。
- ・コーディネーターは誰でもいいわけでもなく、非常に人脈もあったり人望もあったりする方でないとできないと思う。
- ・地域おこし協力隊など県外の方が来られているが、その方をコーディネーターとする場合も、学校の歴史、地域とどのように繋げるか等あると思うので、現在のコーディネーターと、その部分は協議し、できるだけことはしていきたい。

**■浜田ろう学校校長 [質問]**

- ・予算については承知した。
- ・第1回役員会で、ろう学校で何か予算が必要だったら、事務費から検討してもよいと言われた気がするが、例えば、手話学習会や作品展を行う場合、予算の

考えとしては継続していると捉えてよろしいか。

**(事務局 回答)**

- ・事務費は浜田市の補助金なので、ろう学校に限らず各校から相談があれば、予算の範囲内で個別に対応させていただきたい。まずは県からの交付金を優先的に使用していただきたい。

**■島根県立大学特別補佐**

- ・1回の魅力化フェスタを全部盛りで行い、それで終わってしまうと、その瞬間はすごく華々しいかもしれないが、後で印象が残らないため総花的になってしまう。
- ・例えばY.A.C.（ヤック）のイベントや、先ほど出たろう学校の絵画展、写真展のように持続可能な形で行うことで、関心を持った中学生が集まってくると思う。
- ・このような方法が、フェスタ開催よりも実質化できるのではないかという印象を持った。草の根というのがキーワードだと思う。
- ・大きなイベントを開くのは、主催側からすると達成感があるかもしれないが、効果を考えたとき、5校全部の特徴が違うので、それぞれの特徴に合った形で、ターゲットを明確にしながら訴求力があるような手法が一番よいと思う。
- ・まちなか交流プラザの規模感がちょうどいいと思う。
- ・Y.A.C.（ヤック）はすごく元気になってきているので、Y.A.C.（ヤック）と協働することで高校生も参加できるし、親や中学生という形で、横の展開も期待できるのではないかと感じた。
- ・予算規模も大きくなることはないと思うので、うまくいくのではないかなという印象を持った。

**(会長 回答)**

- ・まちなかプラザについては、はまだ協働学舎ファンタスなどの関係団体とも連携していくということも可能ではないかと思っている。

**■浜田高等学校校長（副会長）[意見]**

- ・魅力化フェスタについて、最初聞いた時に、正直ちょっと残念だと思った。
- ・やはり、生徒の活動発表の場という形で、Y.A.C.（ヤック）等の色々な活動が出てきたり、特別支援学校の教育活動が見えたりしたりして、地域の人に見てもらえる場としては非常に良い場だと思っていた。
- ・また、他のコンソーシアムにはない、HAMADA コンソならではの特徴的な取り組みだったのではないかとこのところ、少し残念だと思った。
- ・一方で、今回のイベントの最後では高校生が頑張ってくイズ等やっていたが、一般の人は帰ってしまい、身内とスタッフだけやっているような感じで、少し寂しいと思った。

- ・そういった意味で、もう1つの狙いである地域との繋がりや、高校が一番直接的に期待する生徒確保に繋げるなど、どの程度繋がっているのか疑問もあったので、一旦立ち止まり、やめるのか利用していくのかというところではあるかなと感じている。
- ・各校の予算に全部振り分けていくのも1つの考えだと思うが、まちなか交流プラザを使って、少し違う形でやってみるとかも1つの考えだと思う。
- ・邑南町も同じようなイベントをやっていたが、今年からリニューアルし、地域や、小中高校生が一緒になって、まちの未来を考えていくというイベントに変えられた。色々な形があると思うが、コンソがイベント型でやるのか、各学校が色々活用してやるのか、あるいは県大生とも絡んで色々やれるといいと思う。
- ・何らか違う形で、発展的解消というか、そういう形で繋がるのではないかと考えている。

#### ■ 浜田商業高等学校校長 [意見]

- ・フェスタについて、来年度は、とりあえず止めてみて、もう一度考え、仕切りなおして、1年かけて考えたらどうかと思っている。
- ・こちらが見せたいと思って出しても、それが小中学生や地域の方にとって魅力ではなかったとのだろうと思う。
- ・例えば、小さい子どもが喜ぶことをすると親が必ず来る。
- ・冬に、国府小学校で理科の中国地区の科教研の大会を行った時、各中国地方から人が来られた。ちょっとした理科の実験ブースなどを出したが、思った以上に人が来られ驚いた。もう少し楽しめるようなものを入れるとか、邑南町の例も言われたが、小中学生がお客さんで来るというよりも、何かする、何か出す、発表する等、そういう協働の形であるとか、もう少し視点を広く持って集客、認知を狙ってやったらいいのと、先ほどの話にあった、まちなか交流プラザの利用が本当に鍵だと思う。
- ・地道に、まちなか交流プラザに足を運んでもらえるよう、周知も並行しながら、各校順番に展示できる場所を確保させてもらい、少し期間をもらい定期的に学校の活動などを展示するなども1つの案だと思う。
- ・まちなか交流プラザには。いつも高校生や大学生がいる。一般の人でも会議や商工会議所に用事があり来られる人もいる。目にとまるような形で、あそこに行けば市内の県立学校の情報発信の場がある、また、県大もそのような掲示をされてもいいと思う。そうすることにより、費用対効果としては非常にいいものがあるのではないかとと思う。
- ・内容に魅力があれば、魅力化フェスタはうまくいくのではないかとと思う。

## ■はまだっ子共育運営委員会統括〔意見〕

- ・高校生だけではなく多世代というところでは、15年くらい関わっている石見まちづくりセンターの「いわみっ子祭り」がある。
- ・そこでは、中学生の美術部と生活科学部、浜高の自然科学部、県大のC-Artis、小学生はお客さんだったり、まちの縁側の駄菓子屋店長だったりするが、まさに、多世代参加型の子どもと大人で作る祭りをしている。
- ・その中で、生活科学部の一中生が浜高に行き、自然科学部に入りたい、県大生はこんな感じなのだというふうに、その場面を見る中で、キーワードは地域だと思っている。
- ・地域は多世代、そして多様性のあるラーニングセンター、学びの場所で、そこにどのように高校生が混ざっていくべきかを、もう少しベースに考えていく視点は必要かと思っている。
- ・今後、受験体制の中で、県大生も学生時代に力を入れた「ガクチカ」ネタを手に入れたり、高校生も自分が語れるものを手に入れたりもあると思う。
- ・地域のニーズとしては、避難所運営訓練をしたり、部活動がない日を中高一貫で作ったりして、生徒会や、Y.A.C.（ヤック）で何か考え、その日に一緒に行動できる時間を作ってほしいと思う。今は隙間時間で行っているので、主体的にできる時間を考えてほしい。
- ・こども家庭庁ができて、子ども大綱ができてきたが、子ども若者の参加の仕組みをどのように自治体で作るか課題になっている。
- ・子ども基本法 11 条では、これから子どもに関わるあらゆる施策に関し、子ども若者の意見をきちんと聞かなければならないという法律になっている。
- ・子どもたちは私たち大人のパートナーなので、自分たちの意見がきちんと反映される実感を持つことが、何よりも主体性と子どもたちの民主主義を育てると思っている。
- ・自分が社会の形成者だという、そのエージェンシーの部分をきちんと育てるには、高校生が何かやってみたいと思った時に、きちんとした物があるようにしないと、何か意見を聞いたけど、それでどうなった？というのでは、本当に社会は自分たちで変えられるという、市民性の育成としてのコンソーシアムの役割は育たない。
- ・子ども施策にどのようにお金を作るかは、浜田のこれからの正念場ではないかと思っている。
- ・コーディネーターもとても必要で、隠岐におられる豊田さんがよく言われるが、「ふるさとに帰ってくるシャケ」を作るのではなく、「ふるさとに帰ってきたい川」を私たちは本当に作っているのだろうか？というところが、予算付けや、何かいいこと書いているけど一体これは誰がやるの？というか、そこをきちんとやっていくことは、このコンソーシアムとしてゆずれなく追及していきたいなと思って聞いていた。

## ○その他の意見

### ■浜田商業高等学校校長〔意見〕

- ・生徒確保に関係して、今の中学3年生の志願状況が新聞報道されたが、県内どこも例年より低くなっている。県教委に聞くと、昨年よりも、中学生の数は県全体で150名減り、県立高校への志願は400名減っている。
- ・この浜田地域に関しても同様。
- ・本校は推薦からして昨年より10名ぐらい少なかった。
- ・中高の校長会でも話題になったが、新しい推薦入試を打ち出したという話も聞いている。公立高校が令和7年度入試から、新しくするというのに危機感を感じ、早々と私学が手を打ったと思うが、生徒確保の関係で中学校長会の見解をお聞きしたい。

### ■浜田市中学校長会長代理〔意見〕

- ・代理のため、私個人の意見ということで聞いてほしい。
- ・先ほど出た7年度入試を見据えて、私立が早く動いているというイメージは確かにある。
- ・入試制度も随分変わって、県の校長会にも、入試制度の見直しに付随して、もう少し受けやすさなどもお願いをしている。
- ・コンソーシアムで先ほど、今後中学生に対して魅力発信ということで、オープンキャンパス等の話があった。
- ・私立高校は、入試もほぼ最近Web出願という形で、非常に受けやすい。公立高校は来年度から自己推薦が始まるが、私立高校は随分前から、学校長の推薦ではない自己推薦や、不登校傾向の子に対する受けやすさ、そのあたりは随分追及をされてきて、やはり各校、生徒確保には動かれていると思っている。
- ・オープンキャンパス等で、以前みたいに全体の生徒にアンケートを配って、名簿が返ってきて、手書きで参加人数を書いて送るというような感じではなく、行きたい子が情報を見て、自分がこの学校のオープンキャンパスに行きたいと、各ご家庭からWeb出願や申し込み等ができるようになると、気軽に参加できるようになり、参加者も増えて、魅力を発信する機会も増えると思っている。
- ・公立高校が令和7年度の入試から変わるということで、今色々な所で各学校の魅力を前面に出した取り組みをされているので、ICTとか今あるものを上手に利用し、発信していくことで、さらに先の生徒確保等にも繋がってくると思っている。

### ■会長

- ・今ちょうど来年度に向けての高校入試の志願状況なども出ているので、副会長からその様子を少し情報提供させてもらおう。



### ■ 浜田高等学校校長（副会長）

- どのような形で共有するのは難しい部分があるが、コンソの中には生徒確保があるので、少し議題にしたいと思っていた。
- 先ほどあったように、浜田市の3校は今年全てが定員割れするという衝撃の状況にあった。
- 石見部全て定員割れしているので、浜田に限った話ではないが、お隣の市で、統廃合の動きが進んでいる中、浜田市でこれが続くようであれば、我々の学校にも、このような流れが来ることは容易に想像できる。そうなる前に何とかしたいと3校とも強い危機感を持っている。
- それらは我々の努力の問題でもあるが、例えば1町1校コンソでは、これが一番大きい議題になって、それをコンソで共有しながらどのようにするかという話をしたりしている。
- 複数コンソの難しいところだと思うが、特別支援も違う事情があるので、生徒募集、生徒確保が、学校各自で努力してやるが、コンソとしてどういう取り組みなのかということと、どう捉えたらいいのか正直思っている。
- 岡山朝日という岡山のトップ校があるが、岡山朝日も生徒募集に苦しんでいて、中学生では遅い、小学校に説明会に行っているという話を聞いた。トップ校でもそうしているのだなと思った。
- 例えば、コンソの活動として、フェスタのような集客型ではなく、岡山県でしているような、出前型か出張型のイベントを企画してみるとよいのではないかなと思う。
- オープンスクールは集客型だが、例えば浜田市3校だけの出張会を9月とか10月とかに企画するとかも手だと思う。
- 現在、浜田市の子どもたちが浜田3校にどの程度在籍しているか把握してないが、これもコンソなのか、中学校長会なのかわからないが、それぞれが共有してやっていかないと、今後、1クラス減、2クラス減になっていくのではないかなと思っている。
- コンソでどこまで共有する話かわからないが、少し危機感はお伝えしたくて、発言したいと思っていた。

### ■ 浜田商業高等学校校長 [意見]

- 浜田市に準備していただいた共同宿舎に関しては大変素晴らしいことだと思う。経費も掛かる中で用意していただき感謝している。来年度本校からの入舎者はいないが、これからしっかりとアピールしていかないといけないと思っている。
- 本校は島根県西部で唯一の商業高校である。
- 独立4商といい、松江商業、出雲商業、浜田商業、そして情報科学も入れて、商業教育を学べるのは、県西部では浜田商業だけである。

- ・今の中学3年生で入学してくる子供は浜田市内だけで、1年生、2年生は全て浜田市内です。現在、江津市と益田市合わせても100何名中3人ぐらいで、本校にしてみれば、それは喜ぶべきことではない。
- ・県西部、まずは情報がいないということで、3分間の紹介動画を年度内に作成し、益田と江津の中学校に全部送ろうと思う。
- ・それを中学2年生の進路学習で使ってもらい、とにかく浜田市内だけの問題じゃなく、生徒確保を江津市や益田市も、呼び込んでいきたいと思う。
- ・浜田市の旭中学校は、浜商、浜水が、交通の便が悪いからという理由で、来られない現状がある。
- ・朝に1本、夕方に1本生活バスを浜田市から出してもらえないか。朝、旭町から出て金城で生徒を乗せ、浜高、そして浜水、浜商に行ってもらえば1つあるといい。
- ・もう1つテーマとしては、教員不足がある。
- ・直接コンソーシアムと関係ないが、教員を作らなきゃいけないと、今ずっと思っている。来年度の商業教員は今年以上に足りず、現在8名足りない。今年、浜田商業も1名欠員の状況で、来年も欠員となりそうである。欠員が続くとよりよい教育ができない。このような状況であることをコンソーシアムも知っておいていただきたい。

#### ■ 浜田水産高等学校校長 [意見]

- ・各高校で生徒募集について色々な戦略を練っている。
- ・水産高校で色々と考えていることが、全部に当てはまるかはわからないが、共同下宿を整備していただき外からも生徒を呼び込むという戦略だと思う。
- ・一方で、先程から出ている浜田市内の中学生が、極端な話100%浜田の3校に行き、なおかつ人が足らなければ、外から呼ぼうという話になるが、結構出ている。他の高校に出ている生徒を何とか市内にというところで、その余地はあると思う。
- ・他地区や県外から呼んで寮を整備し、舎監をつけるのと、今、地元から通える生徒を何とかしようというのと、どちらの方がエネルギーを使うか考えるが、学校が地域にあるという現状を考えると、今まで生徒が行きたい学校へ行けばという感じでやってきたが、少しでも浜田に残るようにと力を入れていくことで、少し寮の負担とかも減るのではないかと思う。

#### [閉会]

#### ■ 会長

- ・このコンソーシアムの中だけではなかなか解決しにくい問題もいろいろあったと思う。そういう事情実態については、今日参加された皆さん、少し触れていただけたのではないかと思う。

- ・なお、今日いただいたご意見については、来年度の事業計画、予算の計画などにも少し反映させていただき、改めて年度が変われば皆さんに共有し、そこで、議論を深めていきたいと思う。
- ・以上をもって、HAMADA 教育魅力化コンソーシアム、令和 5 年度第 2 回役員会を終了する。

以上